

株式会社 トリドール
丸亀通信 VOL.6

第23期 中間報告書

2012年4月1日～2012年9月30日



特集

社長・栗田貴也が語る

トリドールはさらなる高みへ

着々と進む 丸亀製麺の 大きな夢。

● Russia

● USA (Hawaii)

● Korea ● Japan

● Republic of China
● Hong Kong and Macau

● Thailand

● Australia

トリドールはさらなる高みへ

着々と進む 丸亀製麺の 大きな夢。



左から、タイから研修のため来日している Fang Roonjai氏と Jessada Kreesuradach氏、海外トレーニング担当の長谷川真也。来日中の2人は、帰国すればオペレーションディレクターやオペレーションマネージャーとして現地で『丸亀製麺』の技術を広める役割を担う。



トレーニングセンターでは、調理実技を学べるキッチンや、講義を受けられる教室など、設備も充実。もちろん国内スタッフ向けの研修にも利用される。



NEWS！

トリドールの世界戦略が動き出した。

海外店舗続々オープンで 現地幹部スタッフ研修本格化。

トリドールによる「セルフうどんの世界戦略」がよいよ本格的に稼働し始めた。2011年のハワイを皮切りに、今年早々にはタイ、そして念願の中国へも出店を実現。今後さらに台湾、オーストラリア、韓国、ロシアなどへの出店計画も進む中、各国からは現地店舗マネージャーらが続々と来日。トリドールの「技と心」を学び取ろうと、連日研修に打ち込んでいる。



研修では、トレーニングセンターでの講義や実技指導とともに、店舗でのOJTも重要なカリキュラム。写真は三宮店での実地研修で、天ぷら担当として指導を受けるタイの幹部スタッフ。『丸亀製麺』はお客様から調理風景が見えるオープンキッチン形式なので、調理とお客様への応対を同時にこなさなければならず、難易度は高い。

世界のオンリーワン 外食企業を目指して



丸亀製麺レインヒル店（バンコク）

Russia

Korea

Japan

Republic of China

Hong Kong
and Macau

Thailand

Australia



MARUKAME UDON Waikiki Shop
(ハワイ)

USA (Hawaii)



南京鼓楼区店（南京）



北京朝陽門店（北京）

海外でも貫く 技と心とお客様主義

海外への出店計画が目白押しの中、
当社のトレーニングセンターでは現地幹部
スタッフらへの研修も本格化しています。
世界のフィールドにおいても、大切なのは
日本で培った「技術」です。私たちが考
える技術とは、技と心。単なるマニュアルに
よる技ではなく、「美味しいものをつくるん
だ」というもてなしや奉仕の心をとま
った技こそ、これまで私たちが最もこだわ
り、国内でもお客様にご支持いただくこ
とができた一番の理由だからです。

同時に、店舗や商品戦略は日本のやり方
をそのまま押しつけるのではなく、各国の
市場や現地のお客様ニーズに合わせ柔軟に
対応することが必要でしょう。お客様あ
りき“の私たちの基本姿勢は、海外でも変
わりません。

特集

社長・栗田貴也が語る

トリドールはさらなる高みへ 着々と進む 丸亀製麺の 大きな夢。

3年後の1,200店舗、売上1,100億円という「中期計画」達成に向けて
国内外とも力強く加速を続けるトリドール。

海外戦略、そして今後の経営ビジョンについて
社長の栗田が語る。



ロシアスタッフの研修の様子

成長市場を牽引し 自らも成長する海外戦略

昨春オープンした『丸亀製麺』海外第
1号店のハワイは、今も連日1,000名を
超えるご来店がある大成功を収め、海外
戦略への手ごたえを手にしました。初のフ
ランチャイズ出店となったタイでも、非常
に好調にスタート。また中国では、一時の
反日感情問題の影響も回復に向かい、今
は大きな成長が期待できる状況です。

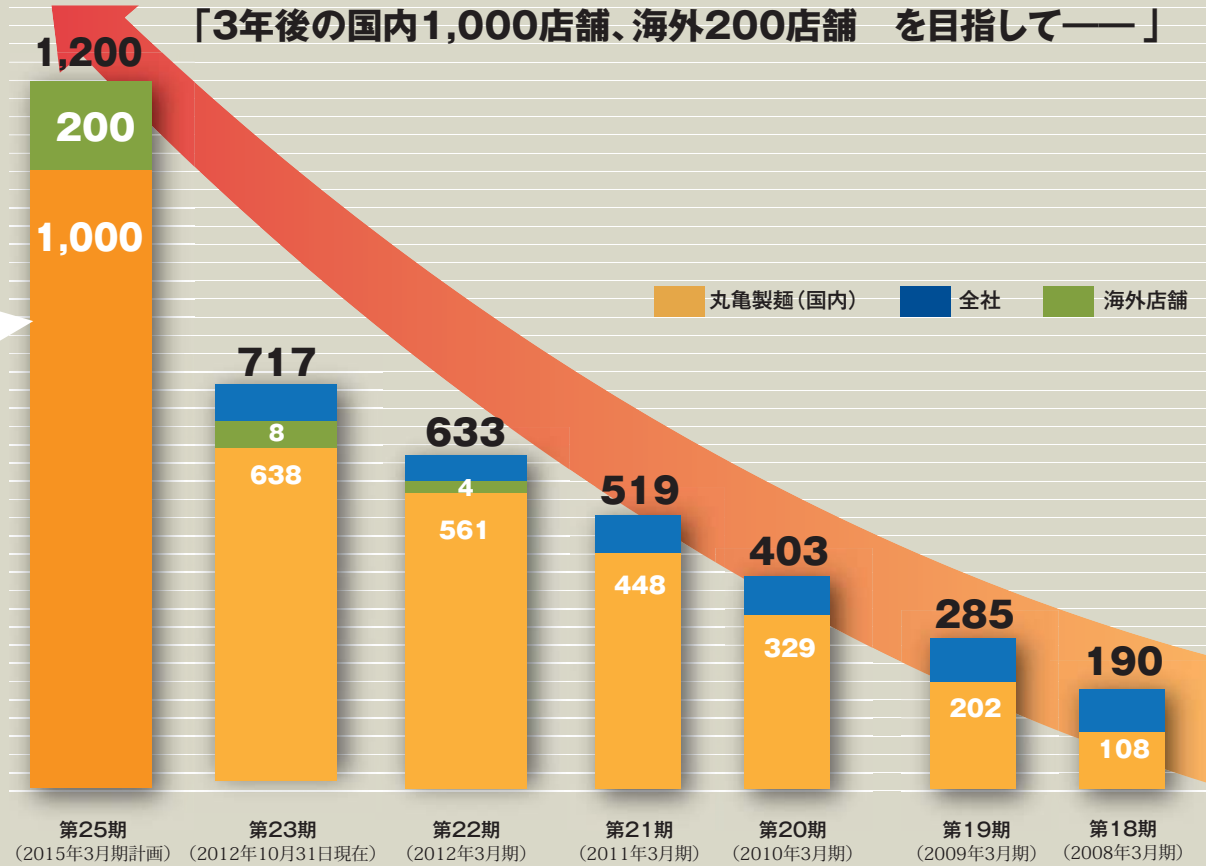
また、2月にはロシア、7月にはオー
トラリア、8月には韓国に現地子会社を
設立。それぞれ1号店の開店を目指して
取り組んでいます。

現在、アジアには日本の高度経済成
長期を彷彿とさせるような、外食産業
が大きく飛躍しつつある国が多くあり

着々と進む 丸亀製麺の 大きな夢。

■中期計画

国内1,000店舗
売上1,000億円
海外 200店舗
売上 100億円



月見わかめうどん



順次拡大している「朝うどん」は、朝からうどんを食べるのが日常習慣である讃岐地方の食文化を広め、マーケットを広げる狙いも。(2012年10月末現在268店で実施)



「うどんのくにへようこそ」というタイトルで制作したテレビCM。活気あふれる『丸亀製麺』の店舗の様子が、お客様目線で描かれている。



食育を中心とした社会貢献活動の一環として行われている「うどん教室」。地域密着やファンづくりにも効果をあげている。



業界トップとしての ブランディング戦略

今年7月、『丸亀製麺』は2012年度の顧客満足度調査(※)の飲食部門において、1位をいただきました。私たちが大切にしてきた手づくり、できたて、素材へのこだわりや、技術、接客などを評価いただけたことは、スタッフ一同、大きな自信と励みになっています。

また、私たちは当初から国内1,000店舗という大目標に向かい邁進してきましたが、もちろん店舗数でも業界トップを独走しています。

そんな中、私は『丸亀製麺』は次なるステージを迎えていると感じています。セルフうどん業界のリーディング企業として、今後はさらに的確なブランディングや広報戦略が必要となります。既存のお客様には、明確な再来店動機を創出するための商品開発などの付加価値づくりを。一方、まだ見ぬ新規のお客様へのアプローチとしては、実験的に一部地域でテレビCMを実施するなど、マスメディアによる効果も検証中です。さらに、各店舗が地域に根をおろし密着していくために、「うどん教室」などのきめ細かなイベントも開催し、丸亀製麺ファンを増やしていきたいと思っています。

3年後の「中期計画」 達成に向けて

3年後の国内外1,200店舗、売上1,000億円という「中期計画」達成に向けて大きく伸びていることが、企業として果敢なチャレンジのできるチャンスだと考えています。『丸亀製麺』以外のトリドール各業態についても、業態推進部という新部門に力を集約して新たな展開を模索します。その一方で、『丸亀製麺』では4月から一部店舗で「朝うどん」をスタートし、順次拡大中。朝からうどんを食べる讃岐の食文化を、時間をかけて全国に広めていきます。

こうした、うどん文化の啓蒙やイベントなどの取り組みは、マーケットそのものの拡大や、ファンづくりという点で重要だと思っています。お客様の声なき声を聞き、また目先の流行に惑わされず、変えてはならないもの、逆に変えなければいけないものを見極めること。これまで培ってきたものを大切にしながら、各店がいつまでも愛され続ける地域一番店を目指していきます。

さらなる高みに向かい 大きな夢の実現へ

トリドールは、まだ成長の入口に立っているに過ぎません。世界戦略という無限の可能性を見据えて、さらに業績を拡大し、企業価値を高め、株主の皆様と夢を共有していきたいと思っています。

●連結損益計算書（単位：百万円）

科目	第 23 期中間期	第 22 期中間期	第 22 期
売上高	34,920	29,728	61,075
売上原価	8,607	7,519	15,732
売上総利益	26,312	22,209	45,342
販売費及び一般管理費	22,054	18,693	38,598
営業利益	4,257	3,515	6,743
経常利益	4,154	3,389	6,497
当期純利益	2,163	1,618	3,050

●連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

科目	第 23 期中間期	第 22 期中間期	第 22 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,651	4,447	8,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,158	△ 3,729	△ 7,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	2,457	1,303
現金及び現金同等物の増減額	△ 227	3,173	3,078
現金及び現金同等物の期首残高	7,639	4,560	4,560
現金及び現金同等物の中間期末(期末) 残高	7,411	7,734	7,639

POINT⑦営業活動によるキャッシュフロー

税金等調整前当期純利益を41億 4 百万円、減価償却費を17億88百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が23億94百万円あったこと等により、36億51百万円(前年同期比17.9%減)の収入となりました。

POINT⑧投資活動によるキャッシュフロー

新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出32億56百万円等により、41億58百万円(前年同期比11.5%増)の支出となりました。

POINT⑨財務活動によるキャッシュフロー

長期借入れによる収入が37億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が28億 3 百万円、配当金の支払が6億 8 百万円あったこと等により、3億 2 百万円(前年同期比87.7%減)の収入となりました。

POINT①資産合計

新規出店の設備投資、敷金及び保証金、建設協力金等の増加により、前期末に比べ28億82百万円増加し、426億13百万円(前期比7.3%増)となりました。

POINT②負債合計

積極的な設備投資のための資金調達により、短期及び長期借入金が増加した一方で、未払法人税等が減少し、前期末に比べ、負債は13億 3 百万円増加し、289億28百万円(前期比4.7%増)となりました。

POINT③純資産合計

利益剰余金の増加等により前期末に比べ15億78百万円増加し、136億85百万円(前期比13.0%増)となりました。

POINT④売上高

国内70店舗、海外5店舗の大量出店を継続するとともに、既存店前年比も98.2%と堅調に推移したことにより、前年同期比117.5%増の349億20百万円となりました。

POINT⑤経常利益

複数社購買による価格交渉や物流費削減、ロス低減等により、原価率は前年同期比0.7ポイント減となったこと等によって、経常利益率は11.9%(前年同期比+0.5ポイント)と高利益率を達成しました。

POINT⑥四半期当期純利益

50百万円の減損損失が発生(前年同期比△96百万円)し、四半期当期純利益は21億63百万円と、上半期時点での過去最高益を達成しました。

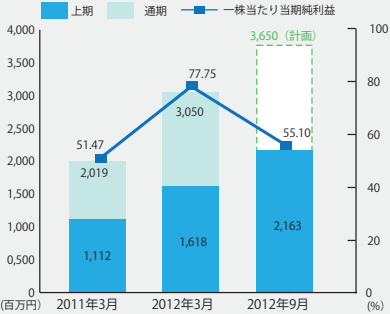
■データハイライト

売 上 高	34,920 百万円 (前年同期比 +17.5%)
経 常 利 益	4,154 百万円 (前年同期比 +22.6%)
経 常 利 益 率	11.9%
自己資本比率	31.7%
PER/PBR (10/31 時点株価実績)	PER 15.47 倍 / PBR 3.96 倍
配 当 利 回 り (10/31 時点株価実績)	1.29%
1 株 配 当	15.5円 (2012年 3 月期実績) / 18.5円 (2013年 3 月期予測)

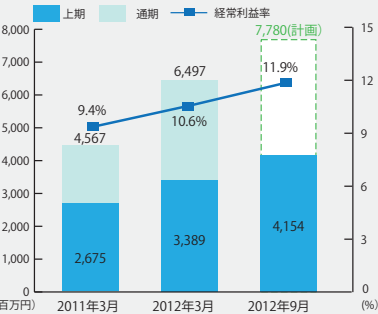
●連結貸借対照表（単位：百万円）

科目	第 23 期中間期	第 22 期中間期	第 22 期
流動資産	9,685	9,555	9,912
固定資産	32,928	28,360	29,818
有形固定資産	22,067	19,020	19,849
無形固定資産	212	212	217
投資その他資産	10,648	9,127	9,751
流動負債	14,795	12,485	13,917
固定負債	14,132	14,773	13,707
純資産合計	13,685	10,656	12,106
負債純資産合計	42,613	37,915	39,731

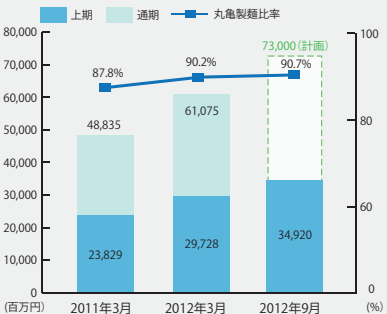
■純利益・一株当たり当期純利益



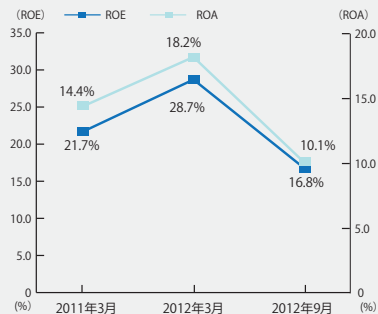
■経常利益・経常利益率



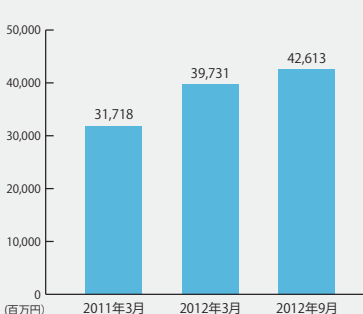
■売上高・丸亀製麺売上高比率



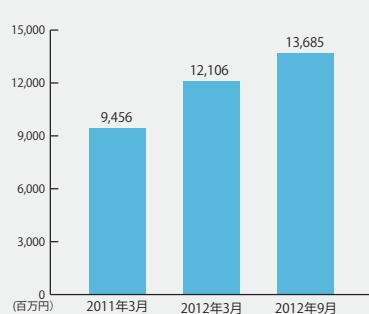
■ROA/ROE



■総資産



■純資産



第 23 期 中間期

財務諸表



◆一部エリアでテレビCMを放映！

丸亀製麺初となるテレビCMの放映を、7月には広島・静岡、9月には関西・中京エリアにおいて試験的に実施しました。

セルフうどんの楽しさと笑顔あふれるスタッフのおもてなし。丸亀製麺の真髓をお伝えするため、撮影には実際に店舗で働くスタッフを起用し、「うどんのくにへようこそ」というキャッチコピーのもと、丸亀製麺のこだわりをそのまま再現しました。

CM放映中、実施エリアでは5〜10%売上が増加し、大きな手ごたえを得ることができました。今後もさらに認知度を上げることで、潜在顧客の掘り起こしにつなげてまいります。



CMの一場面(上写真)と、実際の店舗を使用した撮影の様子。

◆顧客満足度調査で『丸亀製麺』が1位を獲得！

サービス産業生産性協議会が実施した日本最大級の顧客満足度調査「2012年度JCSI(日本版顧客満足度指数調査)」の飲食部門において、丸亀製麺が見事、第1位を獲得しました。



お客様の利用前の期待値と、利用後の品質・価格への納得感のいずれにおいても、バランスよく高評価をいただきました。中でも、価格に対する商品・サービスの品質の高さ(コストパフォーマンス)が最も高い評価を受けてお

り、当社のこだわりであるお客様の目の前で「手づくり」をすることによる「臨場感」と「できたて」の味が高く評価された結果となりました。

今後も、お客様からご評価いただけるよう、商品・サービスの向上に努めてまいります。

◆社会貢献活動「うどん教室」を初開催！

丸亀製麺では、三宮トレーニングセンター(神戸市)にて、夏休みの親子向けおよび敬老の日イベントとして、地域住民を招き「うどん教室」を開催しました。



8月に実施した「うどん教室」の様子。

初の試みとなるこのイベントでは、讃岐うどんの製麺体験などを通じて、丸亀製麺のこだわりである「手づくり・できたて」の食事のおいしさや楽しさを改めて感じていただくとともに、讃岐の文化への理解を深めていただく機会を提供することができました。

今後も、各地でのうどん教室の開催も視野に、「食」を提供する企業として、食育を通じた地域貢献活動を行ってまいります。

◎会社概要(2012年9月30日現在)

社名	株式会社トリドール
主な事業内容	飲食店の経営
設立	1990年6月11日 有限会社トリドールコーポレーション設立 1995年10月28日 株式会社トリドールに組織変更
資本金	13億4,326万円
従業員数(連結)	社員数／715人 パート数／8,497人

※1日8時間換算による月平均人数

◇株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	毎年6月
定時株主総会	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) 東京証券取引所
上場証券取引所	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
公告の方法	ホームページURL http://www.toridoll.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

◎役員

代表取締役社長	栗田貴也
専務取締役	長沢 隆
取締役	小島義昭
取締役	田中公博
取締役	鈴木邦明
取締役	安井義昭
監査役	池田隆行
監査役	日野利泰

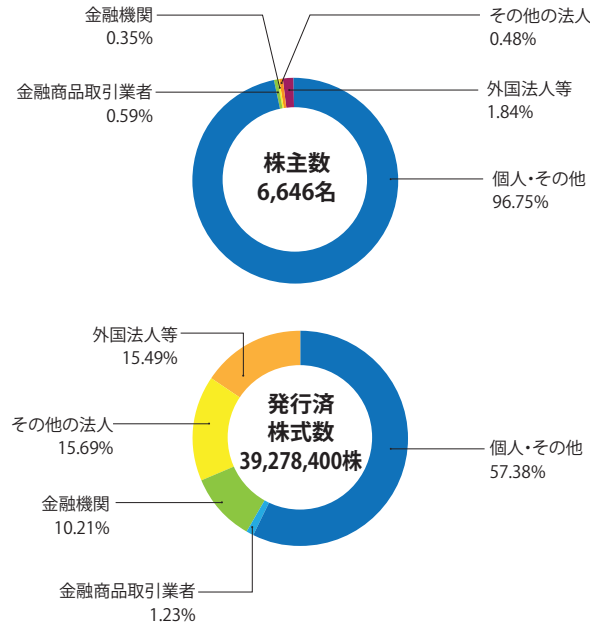
(2012年9月30日現在)

◎株式の状況

発行可能株式総数	115,200,000株	
発行済株式の総数	39,278,400株	
株主数	6,646名	
◎大株主持株数比率	持株数(株)	持株比率(%)
栗田貴也	14,862,000	37.83
有限会社ティーアンドティー	5,880,000	14.97
栗田利美	2,838,000	7.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,583,900	4.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,216,800	3.09
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	905,699	2.30
ゴールドマンサックスインターナショナル	701,700	1.78
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	370,300	0.94
バンクオブニューヨーク・ジーシー・エムクライアントアカウント・ジェイ ピー・アル・ディ・アイ・エス・ジー・エフ・イー・エイシー	359,886	0.91
トリドール従業員持株会	304,200	0.77

(2012年9月30日現在)

◎所有者別株式分布





<http://www.toridoll.com/>

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、
IR 情報や会社情報など様々な情報をご案内しております。



株式会社トリドール

〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号

日本生命三宮駅前ビル11階

TEL.078-200-3430（代表） TEL.078-200-3433（IR 専用）

※この冊子についてのお問い合わせは、上記 IR 専用電話番号までお願いいたします。